



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

令和 4年 1月 31日
横浜市立釜利谷南小学校

2月号

校長 田中 さくら

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

代表メールアドレス ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp

うつつてほしくないもの うつつてほしいもの

如月



明日から2月になります。まもなく立春ですが、まだ寒さが続いています。

先月1月7日の冬休み明けのテレビ朝会で、全校児童に「春の七草」の話をしたところ、翌日に何人かの子どもが「昨日おうちで七草がゆ食べたよ。だから体が元気になるよ!」とか「おばあちゃんが、秋の七草のことも教えてくれたよ。校長先生より物知りだったよ。」などの嬉しい報告をしてくれました。

今月は3日が節分です。各地の豆まきイベントは中止になっているようですが、「節分の夜に恵方（今年は北北西）に向かい、願い事を思い浮かべながら言葉を発せずには食べると願いが叶う」とされている恵方巻は、いかがでしょうか。七草がゆや恵方巻など、日本の伝統を子どもたちにも味わってもらえるといいですね。

さて、先月のこの学校だよりの挨拶で、「2月3日・4日には金沢公会堂を貸切での全校児童によるスタディフェスタを実施します。」と保護者の皆様にご案内して、まだ一か月も経たないうちに、「公会堂での発表が中止となりました。」とメール配信させていただくことになり申し訳ありませんでした。児童も教職員も今年だけの大チャンスと張り切って準備を進めてまいりましたが、オミクロン株の急激な感染拡大により、神奈川県にもまん延防止等重点措置が発出され、密集を避けること、学級より多い人数の学年での集合ができないこと、歌等の音楽に関する活動にもグループ活動にも制限があることなどから、練習や準備もできなくなりました。児童の実行委員も発表内容によっては活動グループも決まっていたのに、残念でなりません。

しかし、完全に子どもたちの発表の場を中止にするのではなく、まん延防止等重点措置期間が明けてから、ビデオ撮り等をして、2月末の懇談会では、保護者の皆様にその学習の様子をビデオで、視聴していただけたらと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

先日、横浜市立小学校校長会の研修会が、オンラインで行われました。慶應義塾大学教授で幸福学研究の第一人者、前野隆司先生を講師に招き「幸せな学校の作り方」というテーマでの講義でした。その場だけの幸せ happiness ではなく、良好な状態が続くこと well-being でSDGsの中にもある幸せについてでした。

中でも印象的な言葉は「幸せは、うつる」ということです。自分が幸せだと感じながら周りの人にも接していると、家族や友達、学校も幸せ（幸福感）はうつっていくとのことでした。オミクロン株は家族や友達にはうつってほしくないけれど、幸せな気持ちは、どんどん感染してみんなが幸せに心も元気に過ごせるといいなとつくづく思いました。また、幸福感は予防医学で、ポジティブ感情が大事であるとのこと。

- 幸福感を感じるための因子としては
- 1 やってみよう（自己実現と成長）
 - 2 ありがとう（つながりと感謝、利他・多様性）
 - 3 なんとかなる（前向きと楽観）
 - 4 あなたらしくありのまま（独立と自分らしさ・自分軸）

の4点があるとのことでした。特に、人に対する「感謝」というのは、感謝する方もされる方もどちらも幸せな気持ちになり、脳の物質ドーパミンやセロトニンやオキシトシンがより分泌されるそうです。

そこで、私たち大人が、たとえ小さなことでも幸せを感じ、子どもたちにうつしていきたいと思いました。